

コメント

1. 流行性耳下腺炎

定点当り2.67人と増加しています。安芸区では6.5人と特に多く、中区、南区ともに3.0人となっています。

2. ヘルパンギーナ

定点当り1.33人とほぼ横ばいとなっています。安芸区では7.5人と特に多くなっています。

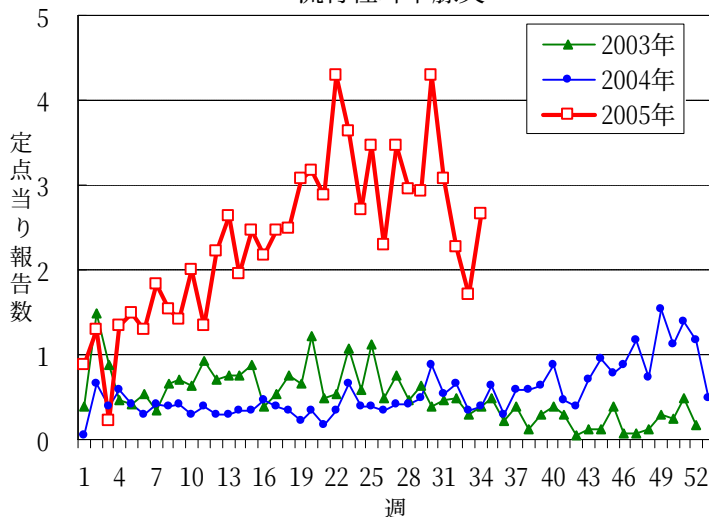
3. 感染性胃腸炎

定点当り3.54人とやや増加しています。

4. 手足口病

定点当り0.58人と減少しています。今年の流行はほぼ終息したものと考えられます。

流行性耳下腺炎



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去5年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ 注2)	-	-	-		麻疹 注3)	-	-	0.07	
咽頭結膜熱	14	0.58	0.17		流行性耳下腺炎	64	2.67	0.85	▲
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	8	0.33	0.39		RSウイルス 感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	85	3.54	2.24	▲	急性出血性 結膜炎	-	-	-	
水痘	13	0.54	0.56		流行性角結膜炎	13	1.63	1.33	
手足口病	14	0.58	0.89	▲	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	6	0.25	0.32		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.26	
突発性発しん	29	1.21	1.16		マイコプラズマ 肺炎	-	-	0.34	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎 注4)	-	-	-	
風しん	1	0.04	0.04		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	32	1.33	0.58	▲					

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね 1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

注1) 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
注3) 成人麻疹を除く
注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

			インフルエンザ (注1)	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
報告数	広島市	第30週	-	9	9	90	23	237	7	25	4	-	38	-	103	-	1	9	-	3	1	-	-
		第31週	-	10	11	101	19	133	14	11	1	-	45	-	74	-	-	2	-	7	-	-	-
		第32週	-	9	7	92	12	49	1	20	1	-	47	-	50	-	-	9	-	3	-	-	-
		第33週	-	9	7	58	17	25	-	15	1	-	30	-	41	-	-	4	-	1	1	-	-
		第34週	-	14	8	85	13	14	6	29	-	1	32	-	64	-	-	13	-	1	-	-	-
定点当り	広島市	第30週	-	0.38	0.38	3.75	0.96	9.88	0.29	1.04	0.17	-	1.58	-	4.29	-	0.13	1.13	-	0.43	0.14	-	-
		第31週	-	0.42	0.46	4.21	0.79	5.54	0.58	0.46	0.04	-	1.88	-	3.08	-	-	0.25	-	1.00	-	-	-
		第32週	-	0.41	0.32	4.18	0.55	2.23	0.05	0.91	0.05	-	2.14	-	2.27	-	-	1.13	-	0.43	-	-	-
		第33週	-	0.38	0.29	2.42	0.71	1.04	-	0.63	0.04	-	1.25	-	1.71	-	-	0.50	-	0.14	0.14	-	-
		第34週	-	0.58	0.33	3.54	0.54	0.58	0.25	1.21	-	0.04	1.33	-	2.67	-	-	1.63	-	0.14	-	-	-
全国		第32週	0.05	0.49	0.45	2.11	0.66	1.07	0.18	0.69	0.01	0.01	1.87	-	1.23	0.03	1.00	0.01	0.07	0.23	0.01	-	
		第33週	0.03	0.45	0.36	1.98	0.59	0.79	0.17	0.66	0.01	-	1.28	-	1.25	0.03	1.30	0.01	0.06	0.25	0.01	-	

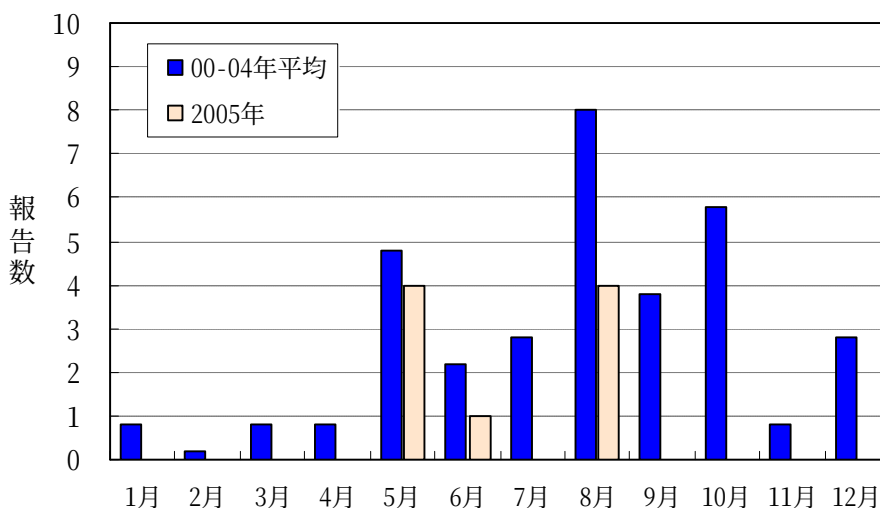
注1) 高病原性鳥インフルエンザを除く (注2) 成人麻しんを除く (注3) オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	6	女	2005/07/13	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB4型
手足口病	1	女	2005/07/18	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
無菌性髄膜炎	1	女	2005/07/15	糞便	コクサッキーウイルスB4型
無菌性髄膜炎	0	女	2005/07/18	髄液	コクサッキーウイルスB4型
無菌性髄膜炎	4	男	2005/07/18	髄液	エコーウイルス18型
無菌性髄膜炎 流行性耳下腺炎	1	女	2005/07/18	髄液	ムンプスウイルス
気管支炎	1	女	2005/07/19	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB3型

【参考】広島市における腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

2005年8月30日まで)



今年の腸管出血性大腸菌感染症は、8月30日までに9件報告されており例年よりやや少なくなっています。

しかし、例年10月ごろまでは報告数が多いので、注意が必要です。

なお、血清型別の内訳は、O157が6件、O26が2件、O111が1件となっています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2005年第34週 (8月22日～8月28日)